

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394700039
事業所名	グループホーム いわくらの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	・地域との交流と社会参加が目的のアダプトプログラムの継続や地域行事には、入居者と共に積極的に参加している。「いきいき介護サポーター」や「多世代交流センター」等の社会資源の活用も行なっている。地域住民との交流を求めて自販機を設置したり、家庭菜園を通じて交流を深めている。運営推進会議の時に「認知症について」の理解を深める取り組みをしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	・入居者や家族、地域包括支援センター、地区代表の区長、民生委員、職員が参加して年6回定期的に開催されている。多くの家族の出席を得るため、開催時間を工夫したり、議事録の様式改善を行った。情報交換やホームの運営に関する事項を活発に審議し運営に反映させている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	・代行申請や報告・相談、運営推進会議や市が主催の研修会、介護相談員の来訪等を通じて連携を取り合い、協力関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	・入居者には日々のケアの中で、家族からは、運営推進会議や面会時、家族交流会等様々な機会を捉えて意見や要望を聴き、ケアや運営に反映させている。運営推進会議録や写真入のホーム便り「絆」は家族に安心と信頼を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	-	-	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。